

「遊び」と「学び」の融合の中で

1970年代に生まれた教育概念の一つである「エデュテイメント」
これは「エデュケーション（教育）」と「エンターテインメント（娯楽）」を組み合わせ、「楽しみながら学べる」という教育のことを言います。

エデュテイメント [edutainment = education + entertainment]

娯楽でありながら、娯楽と関係ない分野の教育として機能するエンターテインメント形式のことです。

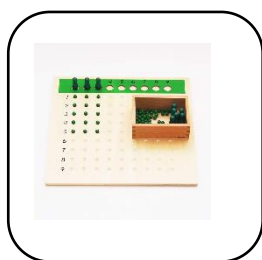
例えば、アフリカンサファリの「ジャングルバス」
これも、一種のエデュテイメントです。
ガイド解説付きツアーで野生動物の生態や生息地を学ぶことができます。



それでは、園の中では、どんなエデュテイメントがあるでしょうか？
子ども達が大好きな『散歩』もその1つです。
ただ、散歩に行くだけではなく、必ず目的を明確にしていきます。
「自然に触れる」や「交通ルールを守る」など…
同じ『散歩』という活動でも、目的を持つ事でエデュテイメントになっていくのです。

子ども達は、体験を通し、心も頭も体も成長していく。
そうやって、遊びの中で学ぶことが出来たら素晴らしいですね。
学校で学ぶような角度だけではなく、子どもの知りたいと思うことに耳を傾け、教育的要素を盛り込むことで、夢中になって遊び、子ども達の能力が最大限に引き出されるのです。

エデュテイメントは、モンテッソーリ教育の中にもいくつもあります。
例えば算数教育の「割り算板」…就学前に割り算が必要なのか？と思うかもしれません。



しかし、モンテッソーリ教育で使う「割り算板」は小学校でのやり方とは違います。

コビットさんに同じ数のビーズを分けていくというものです。

やり方はとても簡単で、この1コずつビーズを分けるという繰り返しの活動が子ども達は楽しいのです。

これによって割り算の意味、「分けること」を遊びながら理解していきます。

そして、一年の集大成でもあるエデュテイメントとは？ズバリ…**生活発表会**です。
一年間のテーマ活動で学んだことをエンターテインメントとしてお客様に伝えていく。
そんな会になればいいと思っています。今年は、南大塚ホールが改修工事のためとしま区民センターでおこまいます。いつもと違った会場で、ハラハラドキドキするかもしれません。子ども達が、毎日の生活（遊び）の中から学んだことを演技として披露していきたいと思っています。みなさんお楽しみに…

（橋本）